

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2025年 合併号
7・8月
Vol.72 No.840

巻頭言

「選挙に行こう！」 江田哲男

会 告

第24回メディカルマネジメント講習会
第74回きめこまかな生涯教育
2025年度実践集中講習会 －X線撮影－
2025年度城東支部研修会
第23回サマーセミナー「乳房検査の勘ドコロ」
第20回ペイシエントケア学術大会（演題募集）

お知らせ

2025年度第1地区研修会

叙 獻

瑞宝単光章

連 載

災害対策委員会 座談会 「災害対策マニュアルの作り方を学ぼう」
第二部「アクションカードを作ろう」 1. アクションカードとは？



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

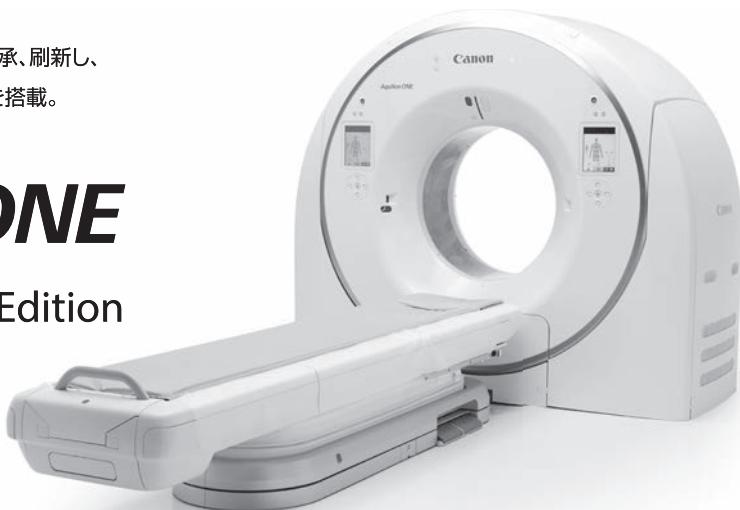
Canon

医療の本質を見抜く、High Resolution ADCT。

Area Detector CT「Aquilion ONE」と、
高精細 CT「Aquilion Precision」で培った技術を継承、刷新し、
超解像画像再構成技術とAIを活用した自動化技術^{※1}を搭載。

Aquilion ONE

INSIGHT Edition



※1 自動化技術: 設計の段階で AI 技術を使用しており、本システムは自己学習機能を有しておりません。

[一般的な名称] 全身用X線CT診断装置 [販売名] CTスキャナ Aquilion ONE TSX-308A [認証番号] 305ACBZX00005000

8000893

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life

新型ハイブリッドサーベイメータ RaySafe 452



半導体とGM管を組み合わせ、
1台で様々な測定用途に対応可能！

As versatile as you are



【お問い合わせ】 **長瀬ランダウア株式会社 営業部**
TEL: 029-839-3322 FAX: 029-836-8441
mail@nagase-landauer.co.jp
<https://www.nagase-landauer.co.jp/>



【製品情報】 **フルーケバイオメディカル**
[https://www.flukebiomedical.com/
products/radiation-measurement/
radiation-safety](https://www.flukebiomedical.com/products/radiation-measurement/radiation-safety)



スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2025
JUL・AUG
CONTENTS

目 次

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 「選挙に行こう！」	3
会告1 第24回メディカルマネジメント講習会	4
会告2 第74回きめこまかな生涯教育	5
会告3 2025年度実践集中講習会 －X線撮影－	6
会告4 2025年度城東支部研修会	7
会告5 第23回サマーセミナー「乳房検査の勘ドコロ」	8
会告6 第20回ペイシェントケア学術大会（演題募集）	9
会告7 第162回日暮里塾ワンコインセミナー	10
会告8 2025年度実践集中講習会 －CT装置・検査－	11
会告9 2025年度城北支部研修会	12
お知らせ1 2025年度第1地区研修会	13
お知らせ2 2025年度第5地区研修会	14
お知らせ3 2025年度第2地区研修会	15
お知らせ4 2025年度第14地区研修会	16
叙 勲 瑞宝単光章	18
連 載 災害対策委員会 座談会 「災害対策マニュアルの作り方を学ぼう」	
第二部「アクションカードを作ろう」 1. アクションカードとは？	20
こ え	
・第15地区研修会感想記	25
・福島県立医科大学 早乙女研究室 第4回たんぽぽプロジェクト参加報告	26
・バイブル	
・第32回日本消化器画像診断情報研究会学術大会	32
・日本診療放射線技師連盟ニュース（2025 No.5）	33
2025年4月～5月期会員動向	34
2025年度第2回理事会報告	35

Column & Information

・東放技入会無料のお知らせ	17
・求人情報	34
・学術講演会・研修会等の開催予定	39

「東京放射線」7・8月合併号のお知らせ

平成23年度より予算の弾力的な運用の提案により「東京放射線」7・8月号を合併号とさせていただいております。
会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

編集委員会

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

卷頭言



「選挙に行こう！」

会長 江田哲男

現在、世界的なインフレが続いている日本においてもエネルギーや食料品をはじめとした生活必需品の価格が上昇し、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。政府は企業に対して賃上げを促す政策を打ち出し、民間企業を中心に給与水準の見直しが進められているなか、私たち医療従事者も同様に待遇の改善を期待するのは当然の流れといえるでしょう。

しかし、医療機関の収入の多くは国が定める診療報酬に依存しており、民間企業のように柔軟な給与対応を行うことが難しいという構造的課題を抱えています。実際、日々の業務量が増加し、業務の高度化が進んでいるにもかかわらず、それに見合った待遇が実現されていないという声が、現場から多く寄せられています。これは診療放射線技師に限らず、医療職全体に共通する深刻な問題です。

このような状況を改善していくためには、診療報酬制度を含む医療政策全体の見直しが必要です。一つの施設や団体の力だけで実現できるものではなく、医療職全体が連携し、現場の実情や専門職の役割について社会全体に理解を広げていく必要があります。特に、診療放射線技師が医療現場において果たしている高度な専門性と責任の重さを、社会的に広く認識してもらうことが重要です。

こうした課題を政策として反映させていくには、制度の設計や改正に関わる政治の場に、私たち医療職の声が適切に届く仕組みが求められます。給与や労働環境の改善、資格の社会的評価、職場の魅力づくりなど、多岐にわたる課題に対し、広い視点から政策が形成されていくことが望まれます。

この7月には参議院議員選挙が予定されています。公益法人として特定の政党や候補者を支持する立場にはありませんが、選挙という仕組みを通じて、私たち一人ひとりが社会のあり方や医療の未来について考えることは大変重要です。投票は自らの意思を表明する大切な行動です。私たち医療に携わる者として、日々の業務だけでなく、社会の一員としても責任ある行動が求められています。

どのような政策が医療現場の課題に向き合い、より良い環境づくりにつながるのか、自らの視点で情報を集め、判断し、ぜひその意思を投票という形で示していただきたいと思います。

医療を取り巻く環境は、今まさに大きな転換点を迎えてます。診療放射線技師としての誇りを胸に、未来を他人任せにせず、自らの手で切り拓いていくという姿勢が、今こそ求められています。皆さま一人ひとりの行動が、社会をより良くする第一歩となることを願っています。

会 告

1

第24回メディカルマネジメント講習会（会場開催）

テーマ「医療事故と保険加入～リスクから自分を守る～」

講師：東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 福田 晋太郎 氏
株式会社メディカルマネジメントオフィス 企画・制作部 加藤 真弓 氏

業務が拡大するにつれ、臨床現場では注意しなければならない部分が多くなったのではないか。診療放射線技師を取り巻く医療事故はどのようなものがあるのか。施設で保証はどのようにになっているのか。保険に加入すべきなのか。多くの疑問について会員の皆様と考えたいと思います。メディカルマネジメント講習会ですが、テーマは保険についてです。特に制限も設けず多くの方の参加をお待ちしております。

記

日 時：2025年7月11日（金）19時00分～20時00分（受付開始18時30分～）
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
開 催 方 式：会場開催
定 員：40名（先着順）
受 講 料：会員 500円、非会員 3,000円
申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
申込締切日：2025年7月9日（水）
問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第74回きめこまかな生涯教育（会場開催）

テーマ「一般撮影の画像処理のキホンを学ぶ ～すぐに使えるコツを伝授～」

講師：キヤノンメディカル株式会社 高山 恵輔 氏
コニカミノルタ株式会社 伊藤 亮輔 氏
富士フィルムメディカル株式会社 伊藤 大樹 氏

一般撮影で画像処理について苦労した経験はありませんか？なんとなくわかるけれど、もう一度基礎から学びたい。すぐに使える処理のコツを教えてほしい。今回は、各メーカー3社から画像処理の基本、処理パラメータの使い分けなどすぐに使えるコツを伝授していただきます。多くの会員の皆様からの参加をお待ちしております。

記

日 時：2025年7月12日（土）15時00分～17時00分（受付開始14時30分～）
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
開 催 方 式：会場開催
定 員：40名（先着順）
受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円
申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
申込締切日：2025年7月9日（水）
問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告

3

2025年度実践集中講習会 －X線撮影－

2025年度 実践集中講習会－X線撮影－を開催いたします。

これは、教育委員会の新しい企画で、1日かけて、X線撮影（装置～ポジショニング～解剖～撮影技術）についてより実践的に、そして集中的に学ぼうとするものです。日ごろの業務に直結する知識、技術を学ぶことができると思います。多くの方の参加をお待ちしております。

講義に使用するテキストは、講師の先生より頂いた資料を1冊にまとめてあります。貴重な資料となることと思います。

～プログラム～

	9:55	開講式／オリエンテーション			
1	10:00～11:00	胸部/腹部（病室撮影含む）	鳥居 純	国立がん研究センター中央病院	
2	11:00～12:00	X線装置/器材（FPD）/その他	由地良太郎	東海大学医学部付属八王子病院	
	12:00～12:40	昼食			
3	12:40～13:40	①画像処理 ②頭顔面部/その他	市川 重司	城西放射線技術専門学校	
4	13:40～14:40	骨/関節（上肢中心）	原島 大佑	順天堂大学医学部附属順天堂医院	
	14:40～15:20	ブレイクタイム			
5	15:20～16:20	骨関節（下肢）	片野 健太	東京大学医学部附属病院	
6	16:20～17:20	椎体	山口 隼平	杏林大学医学部附属病院	

記

日 時：2025年7月13日（日）10時00分～17時20分（受付開始9時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

開 催 方 式：会場開催

定 員：40名（先着順）

受 講 料：会員 2,000円、非会員 10,000円

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年7月7日（月）

問い合わせ：教育委員長 市川重司 E-Mail：kyoiku@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2025年度 城東支部研修会（Web開催） テーマ「できていますか？ サイバーセキュリティ対策」

講師：株式会社インフィニットジャパン 伊藤 孝 氏

近年、クラウドサービスの普及やサイバー攻撃の多様化・巧妙化などを踏まえ、電子カルテをはじめとする医療情報システムの適切な管理・運用が求められています。ランサムウェアやマルウェアなど、サイバー攻撃の多様化・巧妙化によってインシデント事例は増加傾向にあります。医療業界では今後もガイドラインや関連法規を遵守し、より一層サイバーセキュリティ対策の強化が求められるでしょう。災害やテロ、システム障害などの緊急事態が発生しても事業を継続し、早期に復旧するための計画はできていますか？

「あれ？ RISが動かない、電子カルテが動かない…。再起動しても全然ダメだし、どういうこと！？ どうしたらしいの！？」なんてことにならないために、なったときのためにどうすればいいのか？ 以下の3つを中心にプロフェッショナルな方にお話していただきます。

1. 3省2ガイドライン・情報セキュリティ上の脅威について
2. RIS/PACSのランサムウェア対策（サイバーセキュリティ対策）
3. ネットワーク障害時のトラブルシューティング

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年7月24日（木）19時00分～20時00分（受付開始18時30分～）

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：定員は特に設けておりません

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年7月17日（木）

問い合わせ：城東支部委員会 E-Mail：shibu_jyoutou@tart.jp

第1地区委員長 増田祥代

第2地区委員長（城東支部長） 島田 諭

第7地区委員長 富丸佳一

第14地区委員長 長谷川浩章

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告

5

第23回サマーセミナー（会場開催）

テーマ「乳房検査の勘ドコロ」

講師：①メーカー情報提供	キヤノンメディカルシステムズ株式会社	森川 高光 氏
②精度管理	北里大学 医療衛生学部	山田 智子 氏
③マンモグラフィ	国立病院機構埼玉病院	皆川 梢 氏
④MRI	関東中央病院	坂井 香澄 氏
⑤超音波	東京慈恵会医科大学付属第三病院	池部 翔子 氏

今回のサマーセミナーは、乳房検査をテーマに開催いたします。担当しているモダリティ以外でどのように乳房検査が施行されているのか興味はありませんか？ エキスパートの先生方をお招きして基本的な撮影、撮像、読影、最新情報など分かりやすく講義していただきます。

多くの参加をお待ちしております。参加費については、当日会場にて徴収いたします。

記

日 時：2025年8月30日（土）15時00分～17時40分（受付開始14時30分～）

場 所：東京医科大学病院 教育研究棟（自主自学館）3階大教室

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1 (TEL: 03-3351-6141)

ア クセス：①JR、小田急線、京王線「新宿駅」西口 徒歩約10分

②西武新宿線「西武新宿駅」 徒歩約10分

③都営大江戸線「都庁前駅」 徒歩約7分

④東京メトロ丸ノ内線「西新宿駅」（東京医大病院前） 徒歩約1分

開 催 方 式：会場開催

定 員：150名（先着順）

受 講 料：診療放射線技師 1,000円 非会員 5,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年8月30日（土）

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail: gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX: 03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

第20回ペイシェントケア学術大会（演題募集）

テーマ「つながり、支え合う医療を目指して」

第20回ペイシェントケア学術大会も一般演題を募集いたします。

発表は口述のみとし、ペイシェントケアに係わる演題だけでなく研究、教育、症例報告、日常業務報告など、内容は広く募集したいと考えております。

プログラムについては決まり次第、会誌及びホームページに掲載させていただきます。

記

【開催内容】

日 時：2026年2月28日（土）10時00分～17時00分（一般演題発表10時00分～12時00分予定）

場 所：一橋大学一橋講堂 中会議室

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内

開催方式：会場開催

参 加 費：診療放射線技師 1,000円、一般・学生・その他医療従事者 無料

【演題登録要項】

発 表 表：口述発表のみ 発表時間7分・討論3分 時間を厳守してください

発 表 者：応募時点で日本診療放射線技師会の会員かつ2024年度会費完納者に限ります

共同演者：6名まで（非会員でも氏名記載可）

演 題 名：文字数制限なし

抄 録 本 文：400文字以内

締め切り：2025年9月6日（土）9時00分

演題登録：下記URLもしくは右記QRコードより登録

<https://forms.gle/fk3UwrB4c5d5b1cH9>



ポイント付与：日本診療放射線技師会のポイント付与はございません。

そ の 他：臨床データを使用する場合は、研究倫理規程に準拠していただき、応募演題に必要な倫理的対応について理解し、必要に応じて倫理審査委員会で承認を得てご発表をお願い致します。

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



第162回日暮里塾ワンコインセミナー (Web開催) テーマ「液体ヘリウムをまったく使わない1.5TMRIのご紹介」

講師：富士フィルムメディカル株式会社 営業本部 東京支社 MSセンター 吉村 晃太 氏

MRI装置の稼働には液体ヘリウムは必須であることは周知のとおりだと思いますが、技術革新の進歩でしょうか。液体ヘリウムを使用しないで撮影ができる時代が到来しております。今回は「液体ヘリウムをまったく使わない1.5TMRIのご紹介」と題して、最新の情報をお届けしたいと思います。

多くの方の参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年9月18日（木）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：100名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年9月17日（水）

問い合わせ：教育委員会 E-Mail：kyoiku@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2025年度実践集中講習会 －CT装置・検査－

2025年度 実践集中講習会－CT装置・検査－を開催致します。

これは、教育委員会の新しい企画で、1日かけて、CT装置・検査（装置～撮影原理～解剖～造影技術～各領域検査）についてより実践的に、そして集中的に学ぼうとするものです。日ごろの業務に直結する知識、技術を学ぶことができる機会です。

講義に使用するテキストは、講師の先生より頂いた資料を1冊にまとめてあります。貴重な資料となることと思います。

多くの方の参加をお待ちしております。

～プログラム～

9:55		開講式／オリエンテーション	
1	10:00～11:30	総論：CT装置の原理・基礎 撮影方法、造影理論	昭和医科大学病院 後藤 光範 氏
11:30～12:15			昼食
2	12:15～13:45	各論1：画像処理・頭頸部領域	杏林大学医学部付属病院 安達 卓哉 氏
3	13:55～15:25	各論2：胸部・循環器領域	順天堂大学医学部附属順天堂医院 横田 卓也 氏
4	15:35～17:05	各論3：腹部骨盤部領域・整形領域	帝京大学/帝京大学ちば総合医療センター 小林 隆幸 氏

記

日 時：2025年9月21日（日）9時55分～17時05分（受付開始9時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

開 催 方 式：会場開催

定 員：40名（先着順）

受 講 料：会員 2,000円、非会員 10,000円

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：教育委員会 E-Mail：kyoiku@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告

9

2025年度 城北支部研修会（ハイブリッド開催）

感情コントロールと上手な伝え方を学ぼう ～アンガーマネジメント&アサーティブコミュニケーションについて～

講師：上尾中央総合病院 小川 智久 氏

みなさんは、自分の意見や感情を相手に強く押し付けたり、相手の気持ちを尊重せず、自分の意見を一方的に主張したりしていませんか？上司に意見を伝える時、同僚に相談する時、部下に指示を出す時、もつとうまく伝えられたらいいのにななど、思ったことはありませんか？

2025年度の城北支部研修会は、上尾中央総合病院の小川智久先生を講師にお迎えして、アンガーマネジメントと、アサーティブコミュニケーションのスキルについてご講演いただきます。アンガーマネジメントとは、決して怒らないようにしようとする事を目指すものではありません。怒りのメカニズムを理解することで、怒りの気持ちをコントロールしやすくなります。相手の気持ちを尊重し、お互いの意見を尊重したコミュニケーションを心がけるようにすれば、職場のコミュニケーションが円滑になり、居心地の良い職場を作る事ができるようになります。アサーティブコミュニケーションは、仕事場だけではなく、日常生活においても役立つコミュニケーションスキルです。自己肯定感も高める事ができるこのスキルと一緒に学んで、良好な人間関係を築きましょう。みなさまのご参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

- 日 時：2025年10月24日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時45分～）
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
開 催 方 式：ハイブリッド開催（Zoom）
定 員：現地参加20名・Web参加80名（先着順）
受 講 料：無 料
申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
申込締切日：2025年10月20日（月）（HPの申し込み停止は、締め切り日の翌日以降になります）
問い合わせ：城北支部委員会 E-Mail：shibu_jyouhoku@tart.jp
第5地区委員長 北野りえ
第6地区委員長 伊佐理嘉
第16地区委員長（城北支部委員長） 関谷 薫
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2025年度 第1地区研修会 (Web開催)

テーマ「体内または装着デバイスについて ～CT検査、X線検査、MRI検査時の注意点～」

講 師：アボットジャパン 坂 健一 氏
日本メドトロニック株式会社 栗野 健翔 氏

以前、ペースメーカー装着患者さんはMRI検査を受けられませんでした。しかし今は、条件付きでMRI検査を受けることができます。また、最近、グルコースモニタシステムを装着している患者さんも多くいらっしゃり、検査時に制限されることがあります。そこで、第1地区研修会では、メーカーの方にデバイスについて、放射線検査時の注意点、最新トピックスなどご講演いただくこととなりました。安全に検査を施行するためにも必要な情報だと思います。この機会に共に学びませんか？

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年8月1日（金）19時00分～19時45分

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：50名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年7月29日（火）

問い合わせ：第1地区委員長 増田祥代 E-Mail：area01@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ

2

2025年度 第5地区研修会（ハイブリッド開催）

テーマ「整形外科領域における荷重位のX線撮影について
～立位撮影の重要性を考えさせる脊椎編～」

講 師：滋慶医療科学大学大学院 医療安全学研究科 安藤 英次 氏

今年度も毎年好評を頂いております第5地区研修会を開催致します。この研修会は、演者と皆様が活発に議論することにより、知識を深めることを趣旨とした勉強会です。

今回のテーマは、「整形外科領域における荷重位のX線撮影について～立位撮影の重要性を考えさせる脊椎編～」です。超高齢化社会である現在、様々な疾患を抱えている方がいらっしゃいます。整形外科領域における一般撮影では臥位撮影が基本肢位として主流でしたが、近年、立位撮影が重要視されています。CTやMRIにおける立位撮影については確立されたものが少ないですが、一般撮影では確立された立位撮影が多数存在します。

ぜひこの研修会を聴講頂き、明日からの仕事へとお役立て頂ければ幸いでございます。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年9月5日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

開 催 方 式：ハイブリッド開催（Zoom）

定 員：現地20名（先着順）、Web50名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年8月31日（日）

問い合わせ：第5地区委員長 東京科学大学病院 北野りえ E-Mail：area05@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2025年度 第2地区研修会 (Web開催)

テーマ「当直時に役立つ画像を提供するために必要なこと & 一般撮影で動態撮影!？」

講 師：国立がん研究センター中央病院 鳥居 純 氏 (第2地区委員)
コニカミノルタジャパン株式会社 伊藤 亮輔 氏

当直時に役立つ画像を提供するには、ただ撮るだけでなく「何が求められているのか」を理解することが大切です。これを知っているだけで、診療放射線技師としてもう一歩先へ進めます！

また動態撮影は、一般撮影の新しい可能性を広げる技術です。静止画だけでは見えなかった情報を捉えることで、診断の精度向上に貢献できるかもしれません。

新人の皆さんが現場で即戦力になれるよう、工夫やポイントを分かりやすく解説！日々の業務がちょっと楽しくなるようなヒントも交えながら、一緒に学んでいきましょう！

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年9月9日（火）19時00分～20時00分（受付開始18時40分～）

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：50名（先着順）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年8月29日（金）

問い合わせ：第2地区委員長 島田 諭 E-Mail：area02@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ

4

2025年度 第14地区研修会 (Web開催)

テーマ「診療放射線技師の転職動向2025」

講 師：株式会社 SEプラス キャリアコンサルタント 川上 貴士 氏

医療を取り巻く社会情勢の変化により就業環境の多様化が進んでいることから、多くの診療放射線技師が医療機関のみならず企業等も含めた幅広い場において活躍されています。本年度の第14地区研修会では、診療放射線技師の求人状況・転職動向を踏まえて、転職を円滑に成功に導くための準備から戦略、特に企業等への転職に際して知っておくとよい事項について解説していただく予定です。キャリア形成を見据えた情報収集の機会として有益な内容となっておりますので、転職を具体的に検討中の方だけでなく、将来のキャリアチェンジについて考えたい方にも役立つと思います。

多くの皆様のご参加を賜りますようご案内申し上げます。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年10月17日（金）19時00分～20時00分

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：100名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年10月9日（木）

問い合わせ：第14地区委員長 長谷川浩章 E-Mail：area14@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

技師会に入るなら今がチャンス!!

新入会無料キャンペーン

令和8年度まで延長決定!!

東京都診療放射線技師会費

新卒・既卒問わず

入会費5,000円

▶ 0円

しかも

技師免許取得年度に入会すると…

日本診療放射線技師会 (JART) 入会費

入会金5,000円+初年度会費14,000円も0円

技師会に入ると何ができる?

- ・付帯保険に加入出来る
- ・会誌が定期的に届く
- ・会員価格で勉強会に参加できる

まだまだ情報が沢山! 詳細はこちら→



公益社団法人 東京都診療放射線技師会



叙勲 瑞宝単光章 受章



かわさき まさし
川崎 政士

昭和37年11月6日生 (62歳)

学歴

昭和60年3月31日 城西放射線技術専門学校 卒業
昭和61年5月12日 診療放射線技師免許取得 (第26958号)

職歴

自	昭和56年4月1日	目白第二病院	助手	勤務
至	昭和61年5月11日			
自	昭和61年5月12日	目白第二病院	診療放射線技師	勤務
至	昭和62年3月31日			
自	昭和62年4月1日	目白第二病院	副主任	就任
至	平成2年3月31日			
自	平成2年4月1日	目白第二病院	主任	就任
至	平成9年5月20日			
自	平成9年5月21日	医療法人博生会	西多摩病院 診療放射線技師	勤務
至	平成19年4月30日			
自	平成19年5月1日	医療法人社団	大聖病院 診療放射線技師	勤務
至	令和3年3月31日			
自	令和3年4月1日	医療法人社団	大聖病院 主任	就任
至	令和5年3月31日			
自	令和5年4月1日			
至	現 在	在家庭		

団体歴

自	平成8年4月1日	社団法人	東京都放射線技師会	地区委員
至	平成19年3月31日			
自	平成19年4月1日	社団法人	東京都放射線技師会	地区委員長
至	平成21年3月31日			
自	平成21年4月1日	社団法人	東京都放射線技師会	理事
至	平成23年3月31日			
自	平成23年4月1日	社団法人	東京都放射線技師会	地区委員長
至	平成24年5月25日			
自	平成24年5月26日	公益社団法人	東京都診療放射線技師会	理事
至	平成26年6月22日			
自	平成26年6月23日	公益社団法人	東京都診療放射線技師会	地区委員
至	令和6年3月31日			

賞罰歴

平成29年6月29日 小野賞 (公社) 東京都診療放射線技師会 (地域医療功労)
令和2年6月21日 東京都福祉保健局長感謝状 (診療放射線業務に精励、都民の健康保持と増進に貢献)
令和3年10月1日 東京都功労者表彰 (労働精励)

「瑞宝单光章受章」にあたり

川崎政士

令和7年4月29日に発表があり、瑞宝单光章を受章いたしましたことをご報告させていただきます。

今回、体調が悪いため受章式および拝謁式には出席できませんでした。

私が診療放射線技師を目指したのは、高校一年の時に受けた職業適性試験の結果に診療放射線技師を見つけたからです。そこから努力したのですが、高校卒業して1年、技師学校卒業して1年、合計助手生活を5年過ごしました。

卒業して技師になるのが目標だったため、その後は何もしていなかったのが現状でした。地域の技師と交流がなかったため、第13地区の方々と知り合い、知識と技術の研鑽が必要なのだと気付きました。そこからいろいろな場所に出向き参加して、いつの間にか、役員になって参加してもらう側になっていました。

地区委員から地区委員長、地区理事、支部委員長と歴任して6期11年を過ごしました。その間に技師会活動の一環である、市民の健康フェアや立川市にある自衛隊基地の航空防空祭で展示や乳がん触診モデルを用いた触診体験などに参加させていただきました。このような時に、執行部や役員の方々、地区委員や支部の方々のご協力により成功裏に終えることができたのだと思います。ご協力いただいた方々には感謝しております。

このようなすごく良い関係性は、これからも続していくと思っております。

最後に今回の受章に際して、執行部の皆さま、選考していただいた方々、いろいろと連絡していただいた渉外委員長の高野様、ありがとうございました。

東京都診療放射線技師会の益々のご発展と、会員のご健勝を祈願して、ご挨拶とさせていただきます。

川崎政士先生 瑞宝单光章ご受章 祝辞

会長 江田哲男

このたび会員である川崎政士先生が本会からの推薦により、令和7年春の叙勲「瑞宝单光章」を受章されましたことをご報告するとともに、心よりお祝い申し上げます。

川崎先生におかれましては、平成8年より平成19年3月末までの長きにわたり、本会第13地区委員としてご尽力いただきました。そのご熱心なご活動が認められ、平成19年4月からは第13地区委員長にご就任、さらに平成21年4月には地区理事としての重責も担っていただき、その後も、平成26年3月末まで委員長として1期、地区理事としても1期務められ、本会の事業および地区活動の発展に多大なる貢献をいただきました。

中でも、2011年3月に発生した東日本大震災の際には、福島第一原子力発電所事故に伴う被災者のサーベイ活動に自ら志願され、昼夜を問わず現地での支援に従事されました。派遣技師の確保が困難な状況下においても、先頭に立って対応され、結果として本会最多となる14日間にわたり活動に参加。24時間体制で進められたサーベイ業務では、夜間においても力を尽くされ、被災者に寄り添った支援を実現されました。

また、測定業務にとどまらず、作業に必要な簡易マニュアルの作成にも積極的に関与され、チーム全体の円滑な運営にも大きく貢献されました。

地区活動においても多摩地区を一つにまとめ、セミナーなどの勉強会を企画し、地区の会員へも大変貢献されました。

以上の功績が称えられ、平成29年に地域医療功労として小野賞、そして令和2年には東京都福祉保健局長感謝状を受賞され、令和3年には東京都功労者表彰も受賞されています。

この度の川崎先生のご受章は、診療放射線技師としてのご活躍が国民に対し、大きく寄与されたことが高く評価されたものと考えます。今後も川崎先生の益々のご健勝をお祈りするとともに今後も本会への更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。



「災害対策マニュアルの作り方を学ぼう」

第二部 「アクションカードを作ろう」

まったく避難」みたいな内容ですね。

1. 「アクションカードとは？」

○文中登場者（A～Dは全て異なる施設に勤務）

-  A 放射線部門災害対策マニュアル作成経験者、進行役
-  B 放射線部門災害対策マニュアル作成経験者
-  C 放射線部門災害対策マニュアル作成経験者
-  D 放射線部門災害対策マニュアル作成未経験者

 A：少し時間が空いてしまいましたが、今回は「アクションカード」について考えていただきたいと思います。皆さんよろしくお願ひ致します。

まずは、「アクションカードって何？」という説明から始めたいのですが、どなたかお願ひします。

 C：アクションカードとは、災害や緊急事態が発生した際に、迅速かつ的確な対応を行うための行動指針や手順を記載したカード型のマニュアルです。「火災発見時の対応」などで見たことがある方は多いのではないでしょうか。

 B：1.「大声で知らせる」 2.「火災報知器を押す」 3.「119番通報」 4.「初期消火」 5.「炎が天井まで上がってし



D：予期していない時に発生した災害に対して、的確な対応を自分で考えて行動するなんて、たぶん無理です。このような時に手順が端的に記載してあるカードがあれば、パニックになって何もできないということはなさそうです。



C：アクションカードには、災害時の役割に応じて必要な行動が具体的に明示されているので、混乱を最小限に抑えながら対応を進めるための重要なツールです。

【参考】「火災発見時の対応」の話が出たので、参考までに一例として以前Aが作成した「火災発見時の対応」カードを提示します（図1.図2）。

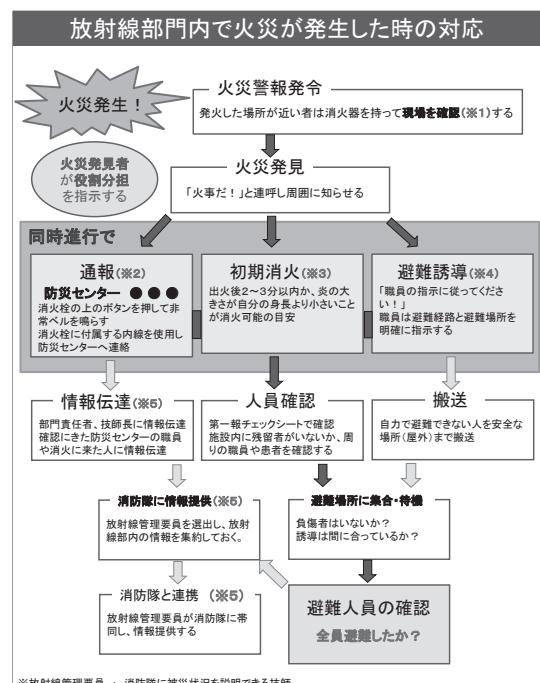


図1



放射線部門内で火災が発生した時の対応

※1 出火点を確認

避難経路を確保するため、出火点を確認する。
現場を直接確認する時は消火器を携帯すること。
消火栓、防火扉の位置、避難経路を考慮しながら行動すること。



※2 通報

自らが覚知した場合は、いち早く周囲に火災を知らせる。
火災報知器ボタンを押す。
部内の電話やPHSを使って●●●に連絡。
消火栓についている電話を使っても防災センターに通報できる。

通報内容 ①「○○棟、○階で△△が延焼中」

※3 初期消火

炎の大きさや退避経路を確認し、消火設備を使って消火する。
あらかじめ消火設備の使用方法を確認しておくことが重要（※別項参照）。

※4 避難誘導

1. 各自、事前に担当部署からの避難経路を確認しておくこと。
2. 避難の際は出火箇所を避け、煙等の被害を被る恐れがない経路を選択すること。
3. エレベーターは火災による停電で停止する可能性があるので使用しないこと。
4. 自力で避難できる人は、大きな声でどこへ避難するか指示すること。
5. ハンカチなどを鼻と口にあて、煙を吸い込まないよう姿勢を低くして避難するように指示すること。

※5 情報伝達

1. 全員避難したか？逃げ遅れないか？
2. 負傷者はいるか？（名前？負傷の程度は？）
3. 出火箇所はどこか？何が燃えているのか？燃えている範囲は？
4. 初期消火は成功したか？
5. 出火室内に放射線を発生させる装置はあるか。（発生は止まっているか、線源はなにか）
6. 放射性物質による汚染及び被ばくの可能性はあるか

図2



A：「災害が発生してもアクションカードがあるから安心」って考えてよいですか？



B：アクションカードだけで安心というわけではないですね。せめて、「平時からの備えはできているし、アクションカードもあるから安心」というくらいには準備していただきたいです。



A：平時からの備えとは何でしょう？



B：災害対策マニュアルをしっかりと読んで内容を把握しておく。訓練を実施していて、発災時の自分の行動をイメージできること、などが挙げられます。



C：先ほども言いましたが、混乱を最小限に抑えながら対応を進めるためのツールです。災害対策マニュアルをしっかりと読み込んでいたとしても、実際に大きな災害が発生した直後は混乱すると思うんですね、マニュアルの内容は頭の中に入っていたとして

も、「今何をすべきか？」という判断はすぐには出てこないよね。だから手順書を目に付くところに置いておこうね」という存在がアクションカードって考えてもらえばいいのかなと思いますがいかがでしょうか。



B：いいと思います。



A：それでは、「アクションカードって何？」ということについては、理解を共有できたと思いますので、具体的な作成方法について考えていきたいと思います。基本的には発災直後の初動に関する内容ということでおろしいでしようか。



B：初動は必須で、病院としての対応（災害モード）が宣言されたあとの行動についてまで記載するか否かは施設ごとに検討すればよいと思います。



A：ありがとうございます。それでは、アクションカードに記載する内容について挙げてください。



C：大規模地震などを想定する場合には、さきほどの火災発見時ほどシンプルではないことが多いと思います。

項目としては、目的、対象者、行動手順、注意事項などで、必要に応じて連絡体制や必要物品リストなどを追記することができます。

＜アクションカード記載内容＞

- 目的：カードの作成目的や、対応する災害の種類を明示します。
- 対象者：カードが適用される部門や職種を特定します。
- 行動手順：具体的な行動手順を時系列で記載します。
- 注意事項：安全確保や優先順位に関する留意点を記載します。



5. 連絡体制：連絡先や報告の流れを明記します。
6. 必要物品：災害対応に必要な機器や資材をリスト化します。



D：対象者については職種ごとに作成すればよいですか？



C：職種ごとというよりは、「役割ごと」と考えた方がよいと思います。その「役割」を担う担当者が職種ごとに異なるのであれば、結果的に「職種ごと」になります。



B：放射線部門で考えると、まず場所としては検査室ですよね。したがって、検査担当者のアクションカードは必須だと思います。検査担当者の中でも役割や行動手順が複数あるのなら、それぞれのアクションカードが必要です。例えば、放射線技師と看護師

で役割分担されていて行動手順が異なるのであれば、「検査室担当放射線技師」と「検査室担当看護師」を対象者として、それぞれのアクションカードを作成したほうが、アクションカードの記載内容は分かりやすくできるはずです。



C：放射線部門に受付があるのでしたら、受付事務の方のアクションカードも必要かと思います。



A：ひとつサンプルを提示してみましょう。私が以前作成したアクションカードです。先ほど挙げていただいたアクションカードの記載内容にきっちりと準じているわけではありませんがご覧ください。

比較的規模の大きな病院で、複数の検査室がある一般撮影部門の例です（図3）。各検査室

Action card リーダー技師		Action card 検査室担当技師	
目的	業務場所	目的	業務場所
<ul style="list-style-type: none">各検査室の被害状況の確認放射線部情報センターとの情報共有救護・避難の指示	一般撮影部門	<ul style="list-style-type: none">担当検査室と担当患者の状況報告担当患者と共に一次避難救護の要請と救護に参加	一般撮影部門
1. 地震発生 自身の安全を確保 検査の中止を指示し、装置を安全に停止させる ・頭上からの落下物や設備の崩落、損壊、火災に気を付ける	1. 地震発生 装置を安全に停止し、検査を中止する 検査室扉を開け、避難路を確保する 患者に声かけする ・「寝台から無理に降りないでください！」 ・頭上からの落下物や設備の崩落、損壊、火災に気を付ける		
2. 地震直後 各検査室の被害状況を確認する（第一報報告） ・第1報チェックリストを携行し、各検査室の被害状況を確認し、放射線部情報センターへ報告する（PHS・情報担当者の伝令） ・手すきの技師を帯同させ、適宜、必要な場所に配置する 各検査室の患者の所在、状態を把握し、報告する（安否情報報告） ・検査室にいる患者の詳細が書かれた依頼状または患者安否報告を担当者から収集し、放射線部情報センターに報告（伝令）	2. 地震直後 検査室の被害状況を確認（第一報報告） 担当検査室に確認に来たリーダー技師に「火災、損壊、重症患者の有無」を報告する（リーダーからの問い合わせに返答する形で） 患者の安全確認及び所在を把握し、報告する（安否情報報告） 依頼状を用いて、担当患者の詳細を確認し、安否情報をリーダーに報告（診療科・病棟・氏名・現在地・トリアージ赤該当者・搬送手段）		
3. 救護・避難の指示 ・移動可能な患者は担当技師と共に廊下に移動してもらう ・移動困難な患者は担当技師を患者に帯同させ、検査室で救護を待たせる（重傷者エリアに避難させる） ・迅速に複数の人員を確保し、移動困難な患者を救護する	3. 救護・避難 周辺の安全を確認し、患者と共に一次避難場所へ移動 ・移動可能な患者と撮影室前の廊下へ移動し、待機する ・移動困難な患者がいる場合は患者に帯同し、救援を待つ		
4. 機器点検・診療再開の準備 ・撮影室や装置の点検を行い、検査の再開が可能な装置を把握し放射線部情報センターに報告する（第二報報告）	4. 機器点検・診療再開の準備 ・リーダー技師から第2報チェックシートを受け取り、撮影室や装置の点検を行い、リーダー技師に報告する（第二報報告）		

図3



の担当技師と部門を統括するリーダーがいるケースです。目的、対象者、行動手順(注意事項)が記載されています。補足ですが、被災状況の報告は、3つに分かれています。第1報は、火災、建物の損壊、重傷者の有無です。各検査室の受持ち患者さんの安否情報は別途収集します。第2報は、検査室が使用可能な状態かを判断する内容となっています。また、リーダーと検査室担当技師の連携を分かりやすくするために、アクションカードの他に初動フロー(図4)を作成しています。これは、各担当者のアクションカードを横に繋げた状態をイメージして作成しています。



B：資料が増えるというのは賛否あるかもしれません。初動フローの資料があることでアクションカードでの行動手順がより分かりやすくなっているように思います。「見える化」ですね。



A：ありがとうございます。



D：アクションカードの作成にあたり、何か工夫されたところはありますか？



A：工夫というよりも適宜見直すということは行っています。訓練で実際にアクションカードを活用し、課題が見つかったら見直しを行い、内容を修正するということです。今回提示したケースでは、リーダーが各検査室の第1報を収集する流れなのですが、この第1報の内容を確認する際に、検査室担当技師のカードには、(リーダーからの問い合わせに返答する形で)第1報の報告をするという手順を記載しました。これは訓練を実施した際に、各検査室担当技師がリーダーに報告をした場合、担当技師ごとに報告の順番が異なったり、不要な会話をしたりなど、情報の収集が滞らなかったので内容を修正しました。

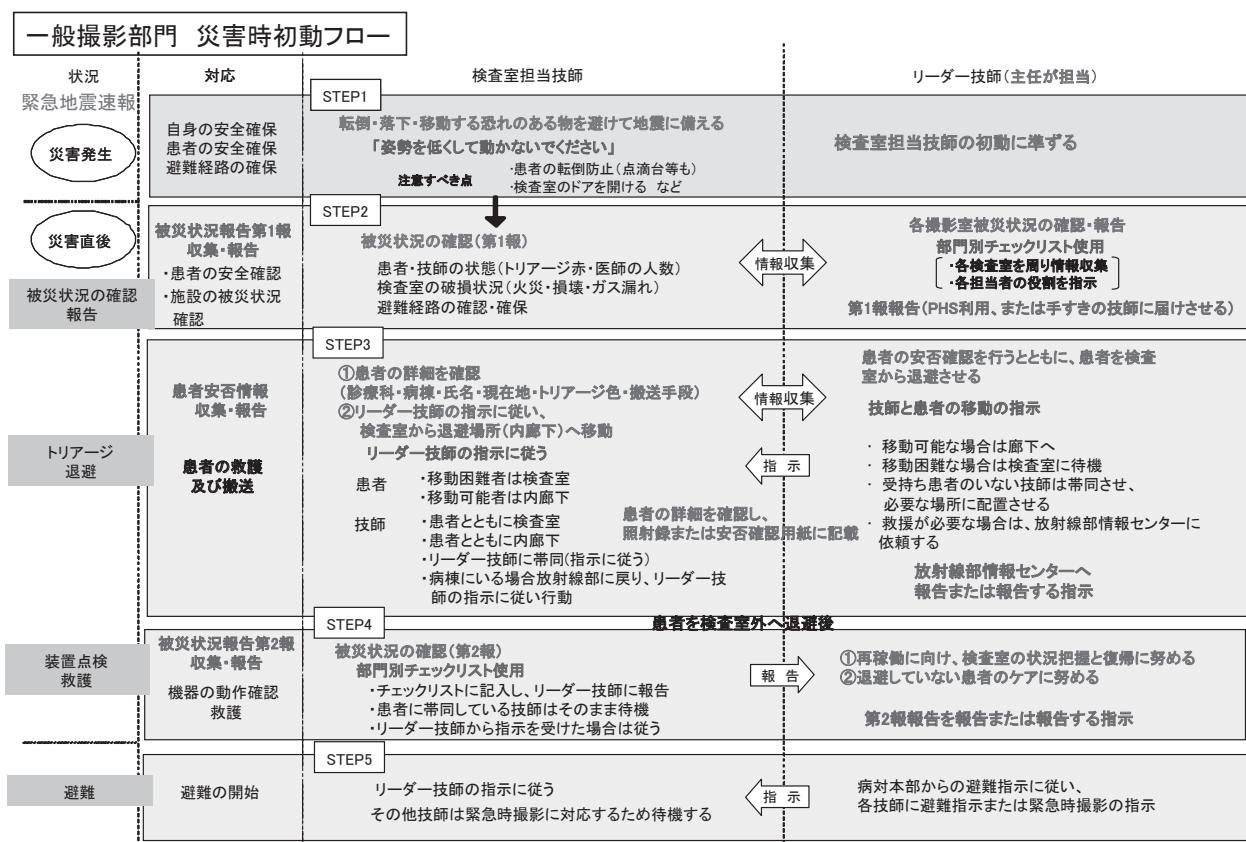


図4



●：実際の訓練の成果を反映させているのは良いことですね。

●：フロー図の中に放射線部情報センターというのが出てきますが、これは何でしょう？

●：提示した例の施設では、一般撮影部門、CT部門、MRI部門、血管撮影部門、核医学部門、放射線治療部門のそれぞれでそれなりの規模があり、かつ、場所も離れているため、放射線部の情報と病院全体の情報を集約することや放射線部の詰所として、放射線部情報セン

ターという名称で拠点を設けています。

●：放射線部門の災害対策本部のようなものですか？

●：その通りです。もちろん自施設の規模や人員に応じてコンパクトな体制を取ることも重要な要素だと思います。

今回は私の作成したアクションカードを例に挙げましたが、もっと洗練されたアクションカードを作成している施設もあると思います。何も参考にするものがなくて困っている方には、今回の記事が一助となれば幸いです。

今回のまとめ

「アクションカードとは」

1. 記載内容は目的、対象者、行動手順、注意事項の他、必要に応じて連絡体制、必要物品などを記載する。
2. アクションカードは役割ごとに作成する。
3. アクションカードを用いて訓練を実施し、適宜見直す。
4. 各役割の横の流れを理解するために追加資料の作成も検討する。

「第15地区研修会感想記」

昭和医科大学横浜市北部病院 中嶋孝義

今回、東京都診療放射線技師会第15地区研修会「線量管理ソフトとは？基礎から解説」にスタッフとして参加致しました。第15地区委員として会場設営や当日の研修会参加者の誘導など研修会運営に携わりながら線量管理ソフトの基礎から実際の使用経験まで幅広く学ぶことができ、2020年4月の医療法改正で義務化された放射線管理・記録について、手作業管理の限界と専用ソフトの必要性を理解することができました。

線量管理ソフトは業務効率化だけでなく、記録の正確性向上やデータの多角的活用を可能にします。ジェイマックシステムの伊達氏からは、CT・PACSとの連携によるデータ収集の仕組みや、立入検査対応、患者説明用帳票出力などの機能について詳細な解説がありました。

富士フィルムメディカルの中野氏からは、大規模病院向け高機能モデルからクリニック向け基本モデルまで、様々なシステムラインナップが紹介され、自施設に既に線量管理システムが導入されている場合はその理解を深め、これから導入を検討する施設にとっても大変参考になる内容でした。

帝京大学医学部附属溝口病院の西澤氏の実例報告では、CTはプロトコルとDRLsの紐付けや集計作業が効率化された一方、血管撮影では検査項目との連携に改善の余地があること、核医学では製剤による



管理が行われていることなど、モダリティによる活用状況の違いが示されました。

線量管理ソフトが記録ミスを減らし、患者対応の質を高める手段としても活用でき、放射線被ばくへの関心が高まる中で、適切に説明できる環境を整えることの重要性も改めて認識しました。

本研修をスタッフとして支援する立場で参加したことで、より深く内容を理解でき、線量管理ソフトが単なる業務効率化ツールではなく、医療安全と質の向上に寄与する重要な仕組みだと実感しました。また、研修会の準備を通して第15地区委員の皆さんとより深く交流を持てたことで楽しく委員会活動を行うことができました。今後は得た知識を活かし、自施設での最適な線量管理体制構築に貢献したいと思います。運営スタッフとして関わる機会を与えてくださった東京都診療放射線技師会第15地区委員の皆さんおよび講師の皆さんに感謝致します。



こえ

福島県立医科大学 五月女研究室 第4回たんぽぽプロジェクト参加報告

東京都診療放射線技師会 放射線相談委員会 笹沼和智

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震とそれに伴う津波により、東京電力の福島第一原子力発電所で原子力事故が発生しました。チェルノブイリ原子力発電所事故以来、最も深刻な原子力事故(最高レベル7)とされています。事故により放出された放射性物質は首都圏も含め、東日本一帯を覆い多くの混乱がありました。月日が流れ多くの方が平穏な生活を取り戻し、震災の記憶は薄れつつあります。しかし、福島県に目を向けると、いまだに多くの帰還困難区域が存在し、継続した除染作業が行われています。

たんぽぽプロジェクトとは、診療放射線技師を目指す学生たちに実際に福島に来てもらい、自分たちの眼で見て、今の福島の現状を体感することにより、個々の中にある「福島」をアップデートするという体験型の教育プログラムです。

今年1月に、福島県立医科大学_保健科学部_診療放射線科学科准教授 五月女康作先生から、東京都診療放射線技師会 江田会長に第4回たんぽぽプロジェクトへの参加のお誘いをいただき、放射線相談委員会から立木崇文と 笹沼和智が参加しましたのでその報告を致します。

1. 東日本大震災と原子力災害と福島の現状について

東日本大震災と原子力災害

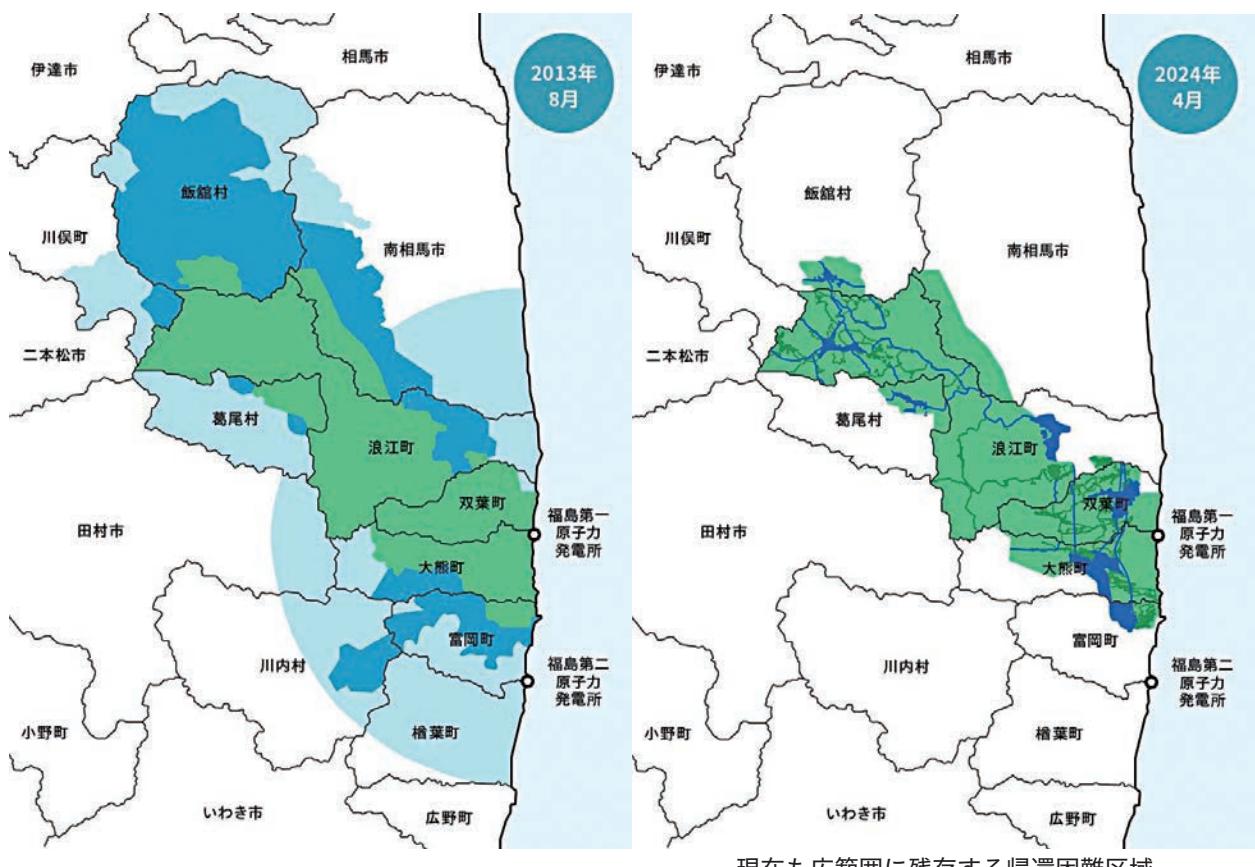
東日本大震災は2011(平成23)年3月11日午後2時46分に発生した「東北地方太平洋沖地震」により

引き起こされた大規模災害の総称です。地震は日本観測史上最大規模で、マグニチュード9.0、宮城県栗原市で最大震度7、福島県をはじめ東北地方沿岸から千葉県までの広範囲で震度6以上を記録しました。東日本をはじめ全国の沿岸で津波が発生し、福島県相馬市では高さ9.3m以上を観測しました。津波は住居や道路、鉄道、工場、農地などを一瞬にして飲み込み、甚大な被害を及ぼしました。全国の死者・行方不明者は1万8000人以上で、1万人以上が命を落とした自然災害は戦後初めてのことです。

福島県内の犠牲者は4,100人以上で、このうち東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う避難生活での体調変化や過労など、間接的な原因で亡くなる「震災関連死」は約半数の2,300人以上で、福島が経験した複合災害の過酷さを物語っています。現在も原子力災害により、福島県では24,000人以上の方が避難生活を強いられています。また、事故を起こした福島第一原発の廃炉や除染土壤の県外最終処分といった、終わりの見えない課題が山積しています。

福島の現状について

復興庁ホームページ https://www.fukko-pr.reconstruction.go.jp/2018/fukushimanoima/shiru/progress/?utm_medium=cpc&utm_source=google&utm_campaign=2024shiru&gad_source=1&gclid=EAIIaIQobChMI9MGfwu6NjAMVP2IAB2hEjxhEAAYASAAEgK0p_D_BwE



【帰還困難区域】（緑色）

将来にわたって居住を制限することを原則とした区域。

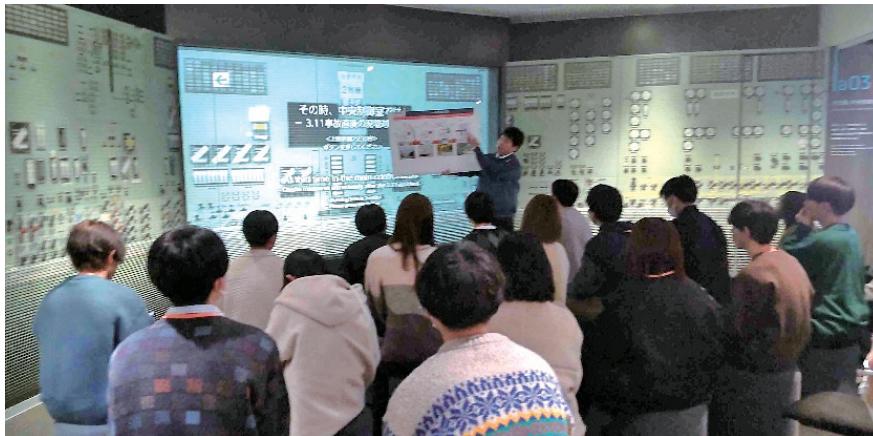
【特定復興再生拠点区域】（青色）

帰還困難区域のうち、5年を目途に避難指示を解除し、居住を可能とする区域。

2. 東京電力廃炉資料館の見学

東京電力廃炉資料館はかつて「東京電力福島第二原子力発電所エネルギー館」として原子力発電の安

全性と有用性をPRする施設でした。福島第一原子力発電所で原子力事故が発生してから7年後に「東京電力廃炉資料館」と名称が変更され、東京電力が原発事故の記憶と記録・反省と教訓、廃炉現場の最新状況等を発信する資料館として運用されています。エントランスの壁には、「私たちは、事故の反省と教訓を決して忘れることなく後世に残し、廃炉と復興をやり通す覚悟をもって『東京電力廃炉資料館』を運営してまいります」と刻まれています。



事故時の原子炉内の作業員の緊迫した状況の説明を受けている様子



3. 講義風景その他

講義はプロジェクト期間中、バスでの移動時間や夜間まで、見学、体験、講義、振り返りと密度の濃い内容で行われました。



移動の途中、福島第一原発付近にバスを止めて現状を説明する五月女先生



原発事故における放射線被ばくについての講義



夕食後の夜間講義の様子



双葉町の当時の様子、現在の復興状況、除染作業の進捗の説明



JR 双葉駅前



双葉町の除染作業の様子



閉鎖された双葉厚生病院前で当時の状況を説明



震災慰靈碑の前で語り部の話を聞く

4. 東日本大震災・原子力災害伝承館

福島が向き合ってきた日々、その轍は、未来へつながる一筋の道標であってほしいとの思いを込めて作られた東日本大震災・原子力災害伝承館です。未曾有の複合災害が多くの命を奪い、あまたの人々の人生を大きく変えた災害の悲惨な状況が多く展示し



てあります。展示を見ながら大きな自然災害を前に途方に暮れる人々、原発事故に恐れる人々、当時の混乱した状況をさまざまと思い出しました。悲惨な災害の記録の中、少しづつではありますが人々が戻り、かつての営みが復活している展示もあり救われる気持ちにもなりました。



津波で原形をとどめない消防車



展示されていた当時の新聞

5. たんぽぽプロジェクトに参加して

奇しくもたんぽぽプロジェクト初日3月5日の福島民友新聞に社説として「震災14年・除染土の再生利用/理解進まぬのは国の怠慢だ」との記事が掲載され、国が首都圏で計画した最終処分の実証事業は、地元の反発で頓挫している内容が書かれています。福島では、いまだに多くの帰還困難区域があ



事故当時の原発周辺にあった看板

り、特定復興再生拠点区域の除染作業が行われています。原発事故により多くの方が故郷を離れての生活を余儀なくされ、14年の年月が過ぎて今なおこの現状が続いている。この悲惨な現状を、福島の原発で作られた電気を使ってきた首都圏の我々は真摯に受け止める必要があるのではないでしょうか。しかし、原発事故から時が流れ通常の生活に戻って久しい首都圏で生活する人々に、この現状や思いを届けるのは難しいと感じています。私自身も事故当時JARTからの福島第一原発への派遣に参加し、原発へ向かう車窓から見た風景や原発に対する人々の思いが書かれた看板など、その時に感じた強い思いが日々薄れ、日常生活の中に埋もれています。

原子力規制委員会委員長の山中伸介氏は今年の職員訓示で、震災後14年の歳月が経ち、役所での事故を経験した職員は全体の約1割と少くなり、規制委員会の発足の原点である事故の経験の伝承は年々難しくなっていると言っています。



今回このプロジェクトに参加した診療放射線科学科の学生たちは、14年前の震災時には幼稚園児ぐらいであり、当時のことを覚えている者は少なく、自身との間に大きな世代間ギャップを感じました。実際に震災を体験した者とそれらの記憶が少ない者ではバックグラウンドが異なり、同じ風景を見ても、受け取る感覚が異なることを実感しました。原発事故を知るものと知らないものが福島の地で共に学び、それぞれの思いを自分自身で感じること、そして感じたことを伝えていくことが大切だと実感しました。たんぽぽプロジェクトに参加して、あらためて福島の現状を見て体感したことを福島から飛び

立った一個の綿毛として自分の足元で伝えていきたいとの思いを強くしました。

最後に、貴重な体験の機会を与えていただいた五月女先生、また、ボランティアとしてこのプロジェクトを支えて下さった福島県立医科大学_保健科学部の先生方、そして多くの学生の皆さんに感謝を申し上げます。

東京都診療放射線技師会
放射線相談委員会 笹沼和智

第32回

日本消化器画像診断情報研究会学術大会

AI時代だからこそ行う
愛のある消化管造影検査



事前参加登録は
こちらから
締切は7月5日(土)まで

- シンポジウム
「高齢化社会に対応した胃X線検査」
- 技師教育講演：高橋伸之 技師
- ランチョンセミナー：市原真先生
- パネルディスカッション
「基準撮影法のアップデート」
- 医師特別講演：小田丈二先生
- 症例検討（VS読影）

ハイブリット開催(会場 + Live配信)

2025年7月12日(土) 9:50開会 (9:00 受付開始)

会場：流山市生涯学習センター（流山エルズ）

つくばエクスプレス「流山セントラルパーク」駅東口より徒歩3分
千葉県流山市中110

大会長：安藤 健一（東京勤労者医療会 東葛病院）

日本消化器がん検診学会認定 胃がん検診専門技師 更新単位：2単位（年間）

主催：日本消化器画像診断情報研究会
後援：(公社) 東京都診療放射線技師会
(公社) 埼玉県診療放射線技師会
(一社) 千葉県診療放射線技師会
(公社) 神奈川県放射線技師会
(公社) 宮城県放射線技師会

大会詳細は順次HP上で公開いたします。

日本消化器画像診断情報研究会事務局

<http://ni-syo-gazou.org>

E-mail : jimukyoku@ni-syo-gazou.sakura.ne.jp



日消研HP

日本診療放射線技師連盟 2025 No. 5 ニュース (通巻No.109)

連盟活動報告

発行日 令和7年5月30日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒381-0812
埼玉県さいたま市北区宮原2-51-39
TEL.048-664-2728 FAX.03-6740-1913

- ① 5月 1日(木) あぜもと先生を応援する会(東京都) 開催
- ② 5月12日(月) 第5回MCI(軽度認知障害)に関する勉強会に出席
- ③ 5月14日(水) JFRT主催 第10回定例勉強会開催
- ④ 5月16日(金) あぜもと君を励ます会(岐阜県) 開催
- ⑤ 5月23日(金) 第5回「日技連/日放連」連盟定期連絡懇話会開催
- ⑥ 5月26日(月) 第6回MCI(軽度認知障害)に関する勉強会に出席
- ⑦ 5月27日(火) 第15回社会保障勉強会に出席
- ⑧ 5月28日(水) JFRT主催 第11回定例勉強会開催
- ⑨ 5月30日(金) 自民党税制調査会主催勉強会に出席



- ① 右のQRコードから畠元将吾先生のSNSにアクセスできます(Instagram、X、Facebook、Youtube)
是非、フォローをお願いします
- ② 当連盟入会ならびに年会費支払い

2021年第2回理事会において、年会費は一律2,000円となりました。
また、寄付によるご支援も随時受け付けております。

郵便局 備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金 口座番号:0667669 加入者名 日本診療放射線技師連盟



会員動向

2025年4月期～5月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2024年度末集計	2,702	279	41	28	151
2025年 4月	2,742	40	6	5	1
2025年 5月	2,762	31	2	6	7

診療放射線技師の人材探し・仕事探しなら！

JMB

ジャパン・メディカル・ブランチ

診療放射線技師が創立 だから…放射線技師に強い！

医療職専門！ だから…充実した人材とお仕事
取扱職種：診療放射線技師・臨床検査技師・看護師・薬剤師 等

半日単位～正社員採用まで幅広いニーズに対応！

医療職専門の職業紹介・人材派遣 株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

お問い合わせ → 0120-08-5801 / info@jmb88.co.jp

〈一般労働者派遣事業許可：派 13-301371 有料職業紹介許可：13-ユ-130023〉



News

7・8月号

日 時：2025年5月1日（木）
19時00分～20時25分
場 所：インターネット回線上
出席理事：江田哲男、野口幸作、関 真一、浅沼雅康、
鈴木雄一、木暮陽介、市川重司、石田雅彦、
高野修彰、市川篤志、竹安直行、江積孝之、
渡辺靖志、今尾 仁、鮎川幸司、関谷 薫、
島田 諭、布川嘉信、大津元春
出席監事：野田扇三郎、白木 尚
指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、松田敏治（第
4地区委員長）、北野りえ（第5地区委員長）、
伊佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第
7地区委員長）、西郷洋子（第9地区委員長）、
澤田恒久（第10地区委員長）、名古安伸（第
11地区委員長）、吉村 良（第12地区委員長）、
長谷川浩章（第14地区委員長）、宮下麻依
(第15地区委員長)、桐 洋介（国際委員長）、
中尾 愛（入会促進委員長）、笹沼和智（放
射線相談委員長）、岩井譜憲（編集委員長）、
村山嘉隆（総務委員）、青木 淳（総務委員）、
新川翔太（総務委員）

欠席理事：なし

欠席監事：なし

議 長：江田哲男（会長）

司 会：関 真一（副会長）

議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

会長挨拶

GW期間中ですが本日もお集まりいただき感謝する。
多くの議題があるので活発な意見交換ができればと思う
のでよろしくお願ひする。理事会終了後に日本診療放射
線技師連盟報告会があり、畠元先生が事務所でご挨拶と
活動報告をしてくださるので、お時間の許す方々には最後までお付き合いをお願いする。

理事会定数確認

出席：19名、欠席：0名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 江田哲男 会長

・活動報告書に追加なし。

3つの養成校の入学式に参加した。放射線学科は定員を満たしているが、他学科は定員割れをしている学校があった。放射線学科は人気がある学科であると説明を受けたが、われわれとしても学生が卒業した後にその思いを裏切らないような魅力ある職業であることを広報しつつ、事業展開をしていきたい。

2) 副会長

関 真一 副会長

・活動報告書に追加なし。

野口幸作 副会長

・活動報告書に追加なし。

浅沼雅康 副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木雄一 理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：木暮陽介 理事

・活動報告書に追加なし。

教育：市川重司 理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

7) その他

江田哲男 会長：

2026年度東京支部との合同学術大会について全体

合同会議があった。開催予定日は11月7日、8日の2日間。で、開催場所の一橋講堂を仮予約中である。内容や学術大会の企画によっては1日に集約することを検討する。開催テーマについては「Radiology × All Tokyo !～つながる、ひろがる、新たな価値を求めて～」に決定。実行委員会を設立するが、大会長、実行委員長は両団体から1名ずつ選出予定である。進捗状況は随時報告する。

伊佐理嘉(総会運営委員)：

総会運営委員会を行い、総会運営規程などの確認を行った。一点意見があり、代議員への資料の送付は現在往復ハガキ又は封書で行っているが、メールなどに変更が可能か執行部で検討をお願いしたい。

議 事

1) 事業申請

①第24回メディカルマネジメント研修会

テーマ：医療事故と保険加入 ～リスクから自分を守る～
日 時：2025年7月11日(金) 19:00～20:00
場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

②第74回きめこまかな生涯教育

テーマ：一般撮影の画像処理のキホンを学ぶ ～すぐに使えるコツを伝授～

日 時：2025年7月12日(土) 15:00～17:00
場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

③実践集中講習会－CT装置・検査－

日 時：2025年9月21日(日) 10:00～17:20
場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

④2025年度 第14地区研修会

テーマ：診療放射線技師の転職動向2025
日 時：2025年10月17日(金) 19:00～20:00
場 所：Web開催

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

⑤2025年度 城北支部研修会(ハイブリッド開催)

テーマ：感情コントロールと上手な伝え方を学ぼう
～アンガーマネジメント&アサーティブコミュニケーションについて～

日 時：2025年10月24日(金) 19:00～20:30
場 所：Web併用 東京都診療放射線技師会 研修セ

ンター

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

2) 事業報告案について

江田哲男 会長：

昨年度の事業活動を掲載させていただいた。主な内容としては、新型コロナも収束して、ようやく対面によるセミナーが活動的に行われたということ、会員の入会数も増えている中で、時限的な会費減額を昨年度で終了だったが臨時総会で二年延期されたことを含めて述べさせていただいた。

鈴木雄一 総務委員長：

放射線相談委員会の報告内容の入力追加・記載漏れ補正をさせていただく、また専門部委員会の方々に確認いただき、軽微な修正がかかる可能性があることを含めて承認いただきたい。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

3) 事業決算案について

石田雅彦 経理委員長：

会員数増加により受取会費が増加、実績は予算通り、予算よりも会議費、交通費が増加しているが期末監査で承認を得ている。

・名古地区委員長よりイタリック体(斜体)になっている数字についての質問があり、確認して回答することになった。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

4) 研修センター拡張等積立資産への積み立てについて

石田雅彦 経理委員長：

令和3年度から毎年度100万円を積み立てている。
今後も継続することを承認いただきたい。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

5) 2024年度期末監査報告

監事より各地区の名簿メンテナンスや活動温度差、領収書等などの適正管理を指摘された。

・規定の整備、透明性確保の取組み、地区の事業活動には役員も介入して活性化を図る。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

6) 役員の報酬に関する規程について

島田 諭 定款諸規程等検討委員長：

非常勤役員は無報酬とする方針について

規程が非常勤役員だが会員外役員に該当するため支給していると東京都から指摘があった。会員、非会員それに対する常勤、非常勤との区別や別表の整合性のため文言修正・項目削除を行った。文言修正で、内容

などには変更がない。改正は総会議題として提出する。上記について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

7) 新入退会について

4月：新入会 40名、転入 6名、転出 5名、退会 1名
木暮陽介 庶務委員長：

今後の課題、問題点として本人が3月31日に会費を納入しているがTARTの方に来る情報の遅れで、4月3日の理事会では、滞納退会が承認されている。今回配付の資料において、新入会という欄の会費3月31日納入で、復籍として認めている状況となっている。上記について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第1地区：

・日放技HPの告示申込ページまでのアクセスが分かりづらいと、地区委員所属施設のスタッフから意見があったと報告がありました。TARTのHPから直接、アクセスできませんか？との意見でした。

竹安直行 情報委員長：

JARTでは告示研修の申し込みはマイページにログインする必要がある。トップページの右上にログインのタブがあるので、直接申し込み画面まで行くことができない。

そこを、説明していただきたいと思っている。

江田哲男 会長：

竹安委員長のおっしゃるように、JARTホームページの右上にログインページがある。ログイン後のマイページから、告示研修の申し込みができる。TARTのホームページから、直接JARTのマイページにログインは不可能である。告示研修の開催日時はJARTホームページ上に掲載されている。また、ログイン後のマイページからJART Plusにアクセスが可能であり、日用品などが安く購入できる。各地区で広報をお願いしたい。

第16地区

フレッシャーズセミナーの開催案内ですが、3月号に掲載していただくと案内がしやすいと、地区委員より意見がありました。他県の技師会誌も4月に掲載されますので、16地区でも案内しましたが、埼玉県技師会にて開催される同研修会への参加登録をしたと報告がありました。

来年度、お願いですか。

市川重司 教育委員長：

会誌において、研修会などは2ヶ月掲載するという暗黙のルールがある。毎年フレッシャーズセミナーは5月に開催するため、4月号の会誌に掲載されている。また、4月1日付で各施設にフレッシャーズセミナーの開催通知を行っている。会誌3月号掲載であった場合、新人が入っていない状況であるため、案内が効果的なのか疑問が残る。東京都診療放射線技師会のフレッシャーズセミナーはオンラインで今後も行う予定であり、新人が入った際に広報していただければよいのではないかと思う。委員会で検討は行う。

関谷 薫 第16地区委員長：

第16地区は埼玉県であるため、必ずしも4月号の会誌が4月1日に郵送されるわけではない。4月1日に会誌があれば、入職した新人に案内がしやすいのではないかと地区委員から意見があった。

竹安直行 情報委員長：

東京都診療放射線技師会のホームページ上では4月1日に案内が掲載されているため、ぜひ広報していただきたい。

連絡事項

高野修彰 渉外委員長：

令和7年春の叙勲に関して、第13地区の川崎政士氏が瑞宝単光章を受章された。また、総会表彰者の誤字脱字に関して、確認していただきご協力ありがとうございました。各受賞者に対して、定期総会への出欠確認をお願いしたい。

市川篤志 学術委員長：

本年度のペイシエントケア学術大会は2026年2月28日に一橋講堂で開催予定である。プログラムの形式は、前年度と同様に午前中に一般演題、午後は専門部の講演の予定である。7、8月号の会誌に演題募集の告知を掲載予定である。皆さまのご協力をお願いしたい。

竹安直行 情報委員長：

最近迷惑メールが非常に多くなっており、スパムメールの設定を皆さまにお願いしたい。また、ホームページの改修を株式会社リメディアに対して依頼した。内容は研修会の掲載や、申し込み締め切りの時限的な設定などである。見積書は資料の通りである。

桐 洋介 国際委員長：

関東甲信越学術大会に関して、インターナショナルセッションにおいて演題の提出をお願いしたい。各地区で広報をお願いしたい。

中尾 愛 入会促進委員長：

フレッシャーズセミナーのアンケートに関して、ご協力いただきありがとうございました。また、研修会などの参加者に対する入会促進に関して、事業実施報告書において入会促進の欄を設けていただき、今後集計を取りたいと考えている。総務委員会とご相談させていただきたい。

今後の予定について（総務委員会）

今後のイベントとして看護フェスタ、フレッシャーズセミナーなどが控えている。研修センター使用申請に関して、今後は私に連絡をいただければ、googleカレンダーに予定を反映し、研修センターの予約を取れるように運用を変更したいと考えている。外部の団体などが使用する場合には、従来通り申請書を提出していただきたい。今後は皆さまにgoogleアカウントを取得していただき、カレンダー上で研修センターの予約を押さえていただく運用をしたいと考えている。引き続き皆さまのご協力をお願いしたい。

以上

光製薬の造影剤

处方箋医薬品
非イオン性造影剤 薬価基準収載

イオヘキソール300注シリソ50mL/80mL/100mL/110mL/125mL/150mL(HK)
イオヘキソール350注シリソ70mL/100mL(HK)
(日本薬局方 イオヘキソール注射液)

处方箋医薬品
非イオン性尿路・血管造影剤 薬価基準収載

イオバミドール300注シリソ50mL/80mL/100mL(HK)
イオバミドール370注シリソ50mL/65mL/80mL/100mL(HK)
(日本薬局方 イオバミドール注射液)

处方箋医薬品
環状型非イオン性MRI用造影剤 薬価基準収載

ガドリドール静注シリソ13mL(HK)
ガドリドール静注シリソ17mL(HK)
(ガドリドール注射液)

イオヘキソール注シリソ
イオバミドール注シリソ
ガドリドール静注シリソ

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること
効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

<https://www.hikari-pharm.co.jp>

光製薬株式会社
(文献請求先及び問い合わせ先) 医薬情報部

〒111-0024 東京都台東区今戸2-11-15
TEL 03(3874)9351 FAX 03(3871)2419

2021年1月作成

学術講演会・研修会等の開催予定

日時や会場等の詳細につきましては、会誌及びホームページでご案内しますので必ず確認してください。

2025年度

1. 学術研修会

☆第23回サマーセミナー 2025年8月30日(土)

第24回メディカルマネジメント研修会 2025年7月11日(金)

☆第23回ウインターセミナー 未定

2. 生涯教育

第74回きめこまかな生涯教育 2025年7月12日(土)

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第162回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催 2025年9月18日(木)

4. 専門部委員会研修会

第20回ペイシェントケア学術大会 2026年2月28日(土)

災害対策委員会研修会 未定

5. 集中講習会

第14回MRI集中講習会 未定

2025年度実践集中講習会 -X線検査- 2025年7月13日(日)

2025年度実践集中講習会 -CT装置・検査- 2025年9月21日(日)

☆6. 支部研修会

城東支部研修会 2025年7月24日(木)

城北支部研修会 2025年10月24日(金)

城西・城南・多摩支部研修会 未定

7. 地区研修会

☆8. 第25回東放技・東京支部合同学術講演会 未定

9. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動 未定

10. 東放技参加 行政祭り等 未定

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

Postscript

自分とは無縁だと思っていた四十肩がついこの間発症してしまいました。足音もせずにいつの間にか忍び寄っていたようで、なんの前触れもなく、朝起きたら突然やってきました。肩が痛く左腕が上がらず、荷物を持つ時や腕を前に出す動作などの時に耐え難い痛みが生じるようになっていました。眼の次には肩、加齢に勝てないと思い知らされました。四十肩・五十肩は、一般的に40代から50代に多く見られる肩関節周囲の痛みと運動制限を特徴とする疾患で、正式名称は「肩関節周囲炎」といい、腱板炎、上腕二頭筋長頭腱炎、腱板疎部炎などを総称した診断名だそうです。肩関節周囲の組織の炎症や変性、癒着が原因とされていますが、具体的なメカニズムは完全に解明はされていないようです。症状や経過には個人差があり、主に腕を上げたり後ろに回したりする際に痛みを感じ、徐々に腕の可動域が制限されるのが特徴とAIが教えてくれ

ました。急性期には無理に動かさない方がいいとの事なので、なるべく安静を保っていますが、動かさないというのはなかなか難しいなと感じました。よくアブレーション治療で入院した患者さんが翌日に一晩中動かないで寝ている事が特に辛かったと言っていた事を思い出しました。仕事上、患者さんを持ち上げて移動させる事が多く、この時の体制が1番痛く、良くなってはまた痛みが再発することを繰り返しています。歳だから仕方ないと思いながらもはやく良くなれと願うばかりです。

B. F. S



■ 広告掲載社

富士フィルムメディカル(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
光製薬(株)
(株)ジャパン・メディカル・プランチ
日本メジフィジックス(株)
長瀬ランダウア(株)
シーメンスヘルスケア(株)

東京放射線 第72巻 第7号

令和7年6月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

令和7年7月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 江田哲男

振替口座 00190-0-112644

電話 東京(03)3806-7724 <https://www.tart.jp/>

印刷・製本 株式会社キタジマ

事務所 執務時間 月曜～金曜 8時30分～16時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03)3806-7724

編集スタッフ

岩井譜憲

森 美加

田沼征一

志田晃一

浅沼雅康
(担当副会長)

X線 CT 装置

NAEOTOM Alpha
with Quantum Technology

CT redefined.

www.siemens-healthineers.com/jp

The world's first photon-counting CT

イノベーションにより技術が飛躍的に進歩すると、常識が変化することがあります。

世界初*のフォトンカウンティング CT の登場はまさにその瞬間と言えます。

フォトンカウンティング検出器を採用した NAEOTOM Alpha は、CT の定義を一新しました。

QuantaMax detector は先進的な直接信号変換をベースとして開発されており、
より多角的に臨床情報を得ることが可能になります。

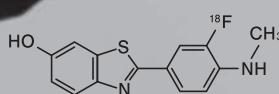
*2022年2月 自社調べ



SIEMENS
Healthineers

全身用 X 線 CT 診断装置 ネオトム Alpha 認証番号: 304AIBZX00004000

nihon
medi+physics



放射性医薬品・脳疾患診断薬

薬価基準収載

処方箋医薬品⁽¹⁾

ビザミル[®] 静注

放射性医薬品基準フルテメタモル (18F) 注射液

®:登録商標

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果・用法・用量・警告・禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。



製造販売元

日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

文献請求先及び問い合わせ先 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで
PET検査について紹介しています。

<https://www.nmp.co.jp>

2024年8月改訂

FUJIFILM
Value from Innovation

液体ヘリウムを まったく使わない 超電導MRI

専用の冷却機構を持ったZeroHeliumマグネットと
磁場コントロールシステム“ZeroHeliumテクノロジー”を採用。
液体ヘリウムをまったく使用せず、極低温状態を維持します。
液体ヘリウムによるクエンチ爆発※は発生しません。

「ZeroHelium」で吸着事故や災害時への不安、
復旧にかかる時間とコストの低減へ。



ECHELON Smart ZeroHelium

REiLI

※超電導状態を失った時の爆発的なヘリウムの放出を表現しています

製造販売業者

富士フィルム株式会社

販売業者

富士フィルムメディカル株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フィルム西麻布ビル

fujifilm.com/fms/

販売名：MRイメージング装置 ECHELON Smart 認証番号：229ABBZX00028000

●FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フィルム株式会社の登録商標または商標です。●この広告に記載されている会社名、商品名は、富士フィルム株式会社またはグループ会社の商標または登録商標です。●ECHELON Smart ZeroHeliumはZeroHeliumマグネットを搭載したモデルの呼称です。●仕様および外観は予告なく変更されることがあります。●本製品では一部再生資源を使用する場合があります。

〒二六〇〇三
荒川区西日暮里二一二二一五〇五
発行所
公益社団法人 東京都診療放射線技師会
TEL・FAX(03)3806-7724

印刷所

東京都墨田区立川二十一一七
株式会社 キタジマ

定価

金四二〇円(税込)